

信仰について考える

人類が自然界を操作するための新しい、より複雑な方法を発見し続けるにつれて、科学の世界(検証可能な知識)と信仰の世界(精神的信念)の間の分裂と断絶がますます明らかになっています。フジワラ氏は、何が真実で何が真実でないかについての対話を作り出すために自然のように見える岩と松葉杖を組み合わせ、信仰の問題におけるこの二分法を探求しています。

この作品は、自然環境の中に置かれた空洞のコンクリート打設岩体で構成されており、その中に歩行補助具が挿入されていて、意図的に不調和な並列になっています。松葉杖は、信仰や宗教による支援をさりげなくほめかしているようです。この工芸品も、将来、信仰の対象になるのでしょうか？